

# 新製品 新技術紹介

## 列車接近警報システム

奥田 博昭

奥田電気工業株式会社  
〒463-0025 名古屋市守山区元郷一丁目 809 番地  
TEL : 052-799-2011 FAX : 052-799-1356  
URL : <http://www.okuda-denki.co.jp>



「人の命を守る」を重点テーマとして取り組み、鉄道関連の事故防止の一助になると無線の機能を最大限に発揮できる製品開発に取り組んだ「列車接近警報システム」。特許出願中は私鉄大手の協力が得られ、本格的に実証実験も行った。

このシステムは、列車が一定の距離に接近すると、音声と間欠照明で保線作業員に注意を促すもの。

線路工事の安全対策は、現状、現場から一定距離に列車監視員を置き、無線で現場の作業員と情報交換しているが人間の目視に加え、列車の接近を物理的に通報するシステムの併用により、安全性が、さらに高まるもの。

現在、多くの引き合いも頂いている。

当社は業務用無線をはじめとする通信設備機器の販売から取付、メンテナンスを行う技術者集団として大手企業からも高い信頼を集めている。

よりよいサービス提供が当社のモットーであり「自身の本業を尽くすこと」「顧客のニーズに迅速に応えること」を心がけている。

補いきれない分野はアウトソーシングするなどの方法、単に外注としてではなく「ビジネス・パートナー」として位置づけている。

近年多発している大地震や集中豪雨の地下浸水、過疎化で防災対策が滞り高齢者の介護や地域の孤立化など深刻な問題である。

災害が起きたら、まず、正確な情報が必要です。

自治体、公共機関そして一般企業においても、非常事態下の様々な要求に応え「災害に強い通信手段」として多くの障害を克服できる当社の業務用無線が大きな役割を果たしている。

一刻を争う災害の場で、一斉通信によって何が起きているか、どこで、どんな助けが必要なのか的確な初動体制を敷くために、無線が力を発揮するのです。

また、平常業務にも広域なネットワークによりリアルタイムで情報を共有することができるのです。

組織内のコミュニケーションは、垂直よりも水平方向に行われ効果が上がります。

特許出願中のオリジナル製品、業務用無線機対応の「非常電源装置 ODK-320PS」も、災害時の「人の命を守る」を起点にしており昨年製品化、販売を始めた。

この装置は、非常時、停電時でも内蔵バッテリーにより電源を確保し迅速に情報通信を発信することができます。

小型軽量化約 6 kg とし持ち運びを容易にしたことで工場やオフィス、あるいは、移動中の車輻にも取付け、使用を可能とした。

また、アンプも内蔵しており、外部スピーカーに接続することで放送設備にも活用できるようになりました。

既に、サービス・メンテナンス会社、警備会社、大手製造業など全国のユーザーに納入 150 台の実績がある。

顧客からの要望で開発した「タイマーユニット ODK103TU」は無線の電源の入れ忘れ、切り忘れでバッテリー上がりを防止する装置として製品化をし納入した。

危機管理、事業継続 (B.C.P、B.C.M) について企業の社会的責任が問われるなか当社が開発した製品が世の中に大きく貢献できるものと確信している。

21 世紀に向けては、これまでの既成概念では、対応できないくらいに加速した流動化の時代に向けて、顧客からの様々な要望をそれぞれのニーズに合った提案をし相互利益をはかっていきたいと考えています。

